

ETAJIMA GoON! Vol.48

有限会社 前水産 代表取締役

まえ たいが
前 太賀 さん

【会社紹介】

海産物や水産加工品の卸・小売りとして平成2年に会社を設立。漁師ならではの経験と知識を活かし、瀬戸内で獲れたちりめん・いりこ、乾燥なまこなどの海産物を製造・販売する。「人と自然に優しいモノづくり」を理念に、瀬戸内より心を込めて商品を届ける。



どの工程も いい状態を判断している。

「前水産では、良質なイワシを厳選して漁獲し、鮮度を損なわないよう迅速かつ丁寧な運搬。その後の湯がきや乾燥といった加工に至るまで、一貫して品質にこだわった製造を行っています。だから製品には自信があります。」力強い応えには

「忙しい毎日ですが、その分、自分の成長や仲間との達成感を強く感じられて、今が一番やりがいを感じています。」と若きリーダーは会社に新たな風を吹かしている。10代の頃から家業に携わる太賀さんは、自身も製造工程に携わるため、こだわ

りを聞くと「たくさんありますよ。（笑）」と顔つきが変わった。

能美町鹿川でイワシ網漁から加工までを自社で行う前水産は、昨年9月に太賀さんが代表者に就任した。「忙しい毎日ですが、その分、自分の成長や仲間との達成感を強く感じられて、今が一番やりがいを感じています。」と若きリーダーは会社に新たな風を吹かしている。

真新しい工場の外では潮風とともに湯がいたカタクチイワシのいい匂いとイワシ網漁の忙しさを同時に感じられる。海をバックに写真を提案したが「綺麗な事務所です。（笑）」と恥ずかしそうに前太賀さんが応えた。



忙しい毎日過ぎていく日々の中でも、休日には家族で過ごす。2児のパパでもある太賀さんは「ずっと子どもと一緒に遊びたかったので、

納得してしまう。自信をもって販売する製品だからこそ「前水産のモノはいい」と言われるとやっぱり嬉しい。魚がなかなか獲れないと言われるが、工夫をしながら最善の状況を判断して漁にあたる。しかし、不安は他にもある。「魚離れが心配です。料理でもいりこで出汁をとらなくなっていますしね。もっと魚を食べてほしいです。」環境の変化だけでなく普段の食生活の変化も前水産には影響が大きい。

忙しなく過ぎていく日々の中でも、休日には家族で過ごす。2児のパパでもある太賀さんは「ずっと子どもと一緒に遊びたかったので、



代々受け継がれてきた伝統に、若きリーダーの新しい風を加えることで、太賀さんならではの「前水乃風」となることを期待する。

まだまだ会社経営は始まったばかり。「今はすべての工程の精度をあげて、もっと良くしていきたい。会社として強く、みんなが（働いて）楽しい会社にしていきたい。」と既に先を見ている。

今が一番楽しいです。早く大きくなってほしいってずっと思っていました。（笑）アウトドア派の太賀さん。「江田島市は海も山もあって広島市へのアクセスもいい。堅苦しくなくていいですね。」江田島市での子育ても垣間見れた。

会社
情報



HP

有限会社 前水産

所 江田島市能美町鹿川 3441-64

☎ 0823-45-5471

営 午前9時～午後3時（臨時休業する場合あり）

つむぐ通信

シリーズ連載 その110

「つむぐ通信」では、地域おこし協力隊員が、月替わりで活動内容やイベントなどのお知らせ、地域おこしに関する企画や提案を紹介していきます。

【江田島市地域おこし協力隊】

国際交流支援員	大方	芳恵
観光事業総合プランナー	山田	京子
オリブブランドクリエイター	鉄増	千夏
里海コーディネーター	向井	綾香

今月は

大方 芳恵 さん



facebookで情報を発信しています

江田島市地域おこし協力隊



今年度は、異文化体験や多文化共生、江田島市の外国人市民の状況等をお伝えするセミナーをいろんな所で実施し、これまでに約400名を超える方々にお話させていただきました。ありがとうございます。

エイジズム

その日は、私が1年住んだドミニカ共和国（以下ドミニカ）の文化や人々と私のホストマザーのことばを紹介させてもらいました。「日々の幸せの積み重ねが、幸せな未来を作るんだよ。」だから、「日々、自分を大切に、家族を大切に、周りの人たちを大切にね。」と。

彼女は、90歳近くても、常に自分なりのおしゃれを楽しみ、足腰の痛みをこらえながらも音楽がなれば踊り、嬉しい時には体いっぱい喜びを表現します。87歳の誕生日、ケーキを前に飛び上がった喜びを表す映像が、参加された方々に勇気と元氣、喜びを与えたのではないかと思います。



▲ラテンダンスを参加者と踊ります

江田島市や日本だけではなく、世界でも高齢化が大きな社会問題となっています。WHOは「活動的・健康的な高齢化」の促進のためには「エイジズム」（高齢者に対する偏見や差別意識）の解消に向けた取組が必要と述べていました。これには、他者からだけではなく、加齢を理由に、自分自身が自身に制限や限界を設け、人生の満足度を低下させている場合もあるそうです。無意識にそうなっていることの方が多くのかと思いますが、できるなら年齢を気にせず、自分らしく、生涯楽しく人生を送りたいものですね。

笑顔で挨拶から

異なる文化や価値観の人たちとの出



会いで、新しい気付きや新しい価値観や楽しみが生まれ、より自由で豊かな人生になることもあると思います。江田島市にも、22か国から来られた外国人市民の方々が住まれています。地域でも、まずは笑顔で挨拶から交流を始めてみてください。また、今後も国際交流イベント等、随時実施していきたいと思っておりますので、機会があれば、ぜひ面白がって参加してみてくださいね！